



**Data**

監督: エリザベス・チャイ・ヴァサルヘリイ

出演: アレックス・オノルド/トミー・コールドウェル/ジミー・チン/サンニ・マッカンドレス

### ■ショートコメント■

◆『フリーソロ』って一体ナニ?それは、身体を支えるロープや安全装置を一切使わずに山や絶壁を登るフリーソロ・クライミングのこと。本作について、チラシには次のとおり書かれているので、まずはそれに注目!

全世界を興奮と熱狂の渦に巻き込み、本年度アカデミー賞®長編ドキュメンタリー賞受賞をはじめ、2018トロント国際映画祭観客賞、2019英国アカデミー賞を受賞(共にドキュメンタリー部門)など、世界で45賞ノミネート、20賞受賞の快挙を成し遂げた傑作『フリーソロ』。ナショナル ジオグラフィック ドキュメンタリー フィルムズ製作による本作は、稀代のクライマー、アレックス・オノルドによるカリフォルニア州のヨセミテ国立公園にそびえる巨岩エル・キャピタンにフリーソロで挑む一部始終を臨場感溢れるカメラワークで捉えている。冒頭から目を疑うような光景が続出し、誰もが手に汗を握り、息をのまずにいられない驚異の傑作、その全貌がついに明らかになる。

◆しかし、本作のストーリーは次のとおりだ。

身体を支えるロープや安全装置を一切使わずに山や絶壁を登るフリーソロ・クライミングの若きスーパースター、アレックス・オノルドには、途方もなく壮大な夢があった。それはカリフォルニア州のヨセミテ国立公園にそびえる巨岩エル・キャピタンに挑むこと。この世界屈指の危険な断崖絶壁をフリーソロで登りきった者は、かつてひとりもない。幾度の失敗と練習を重ね、2017年6月3日早朝、アレックスは一人エル・キャピタンへと歩を進めていく。それは人類史上最大とも呼ばれる歴史的な挑戦の始まりだった……。

自然は壮大なもの。それに対して人間はちっぽけなもの。そんな当たり前のことが巨大な岩壁にへばりついている1人の男の姿を見るとよくわかる。「なぜ、あなたはエベレストに登りたいのか?」と問われた登山家ジョージ・マロリーが「そこにエベレストがあるから」と答えた逸話は有名だが、アレックス・オノルドはなぜ、ロープも安全装置も一切使わず山や絶壁を登るの?それに答えたのが本作だが、なるほどと思う反面、ゾッとする面も……。

◆さまざまな絶壁に「フリーソロ」で挑戦して死んでしまった登山家は多いらしい。また、本作を観ていると、本作の主人公となるアレックスのフリーソロぶりを撮影する側の

大変さもよくわかってくる。フリーソロで登るのが命がけなら、それを撮影するのも命がけ。さらに、邪魔をしてはダメと神経をすり減らさなければならぬから、それも大変だ。しかし、フリーソロをテーマとし、それに挑戦する男アレックスを主人公にただで、1本の映画が作れるの？本作導入部を観ているとそんな心配もあったが、何の何の……。時間が経つにつれて、本作の迫力と緊張感は増していくばかりに……。

◆本作中盤からは、アレックスの恋人サンニ・マッカンドレスが登場して、2人の距離感やフリーソロとの関係について語ってくれるから、それも興味深い。アレックスは子供の頃から孤独で自分の世界にハマりきっていたが、やはりお年頃になると、異性の恋人サンニができたのはある意味当然。しかし、アレックスにとっては、フリーソロで理想を追うのが第1で、異性との恋愛や結婚は第2であることはハッキリしているらしい。したがって、サンニはそれを前提としてのアレックスとの恋愛になる。

本作では、結果的にアレックスの挑戦が成功し、それをドキュメンタリーでフィルムに収めた本作も成功したが、もし万一失敗していれば……。？所詮映画は作りもの。私はそれを大前提として映画を楽しんでいるが、本作を観ていると、その大前提が揺さぶられた感がある。しかして、その是非は？それは、本作を鑑賞した私たち観客自身が最も強く感じたはずだ。

2019（令和元）年9月18日記